

《共通科目》

授業科目名	専 門 実 習 I <i>Specialized Nursing Practicum I</i>		担当教員	専門領域の教員	
開講年次	1年通年	セメスター	1・2	時間数(単位数)	90(2)
必修選択	選択	授業形態	実習	使用教室	
授業の目的	履修者各自が、それぞれの専門領域において、探究すべき課題の明確化を図るために、実習テーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。尚、助産教育コースを受けるものは、妊娠期から産後までの継続事例やその家族に対して外来や家庭での保健指導を行い、助産実践力の向上をめざす。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. これまでの経験や文献等をもとに、各自の専門領域で、探究すべきテーマを明確にできる 2. 1に基づき本実習を、自立して計画・実施・評価できる 3. 文献や理論を活用して、実習成果をレポートとして記述できる 				
授業計画	<p>【方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各自の専門領域あるいは関心領域の地域・集団・個人を対象とし、フィールドにおいて、各自の目的に沿った実習を計画し、実施する（フィールドの開拓、実習計画の交渉などを含む）。 2. 実習で探究したテーマを、理論や文献を活用して、レポートにまとめる。 ※レポートは、実習終了後1ヶ月以内に提出する。 <p>【実習場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自が目的にあったフィールドを選定する (選定にあたっては、各専門領域の教員と相談する) <p>【実習期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学内での講義・演習等に支障のない時間で設定する。 ・ 実習時間は2単位90時間とする。 <p>※フィールドワークを実施する場合は、学務課教務係へ手続きが必要です。 《研究に伴うフィールドワーク》を確認してください。</p>				
学習方法	各自の専門領域あるいは関心領域での実習計画を立案し、各自の目標が達成できるよう、自立して実習を行い、その結果を実習レポートとしてまとめる				
オフィスアワー	各専門領域の教員のメールアドレスを確認し、事前にアポイントを取ってください				
テキスト	指定しない				
参考文献	指定しない				
評価方法	「実習と文献検討をもとに、探究すべき課題」についてのレポート(60%)、目標達成度(40%)				